

# カウンセリングの現場で見えてくる家族問題

## ～変貌する親子関係を考える～

社会のセーフティネットとしての家族の問題が、昨今表面化しつつあります。ストレス・フルの社会の中で、より弱いものへのしわ寄せが大きくなってきている現実があるのではないのでしょうか。

セーフティネットとしての『家族』が機能しにくくなっている現代社会では、本来守られるべき存在である子どもたちに大きな負担を負わせてしまっています。

先の見えない不透明な今、身近な家族の中における親密な関係を再度見つめ直したいと考えました。家族の関係性は外からははかりしれないものがありますが、その中であって、長年苦しんでいる人々が存在しているのもまた事実です。

家族が、親子が、夫婦が、そして個人が、幸せに健やかに、又未来に希望を持って生きるために、今私たちは何をしたらいいのでしょうか？ どの様に考えていけばいいのでしょうか？

長年カウンセリングの現場で多くの事例に関わってきた信田さよ子さんをお招きし、現代社会の家族問題と親子関係について解明し、より良い家族や親子の関係性のためのヒントを得たいと思います。

講 師 信田 さよ子氏(原宿カウンセリングセンター所長)

日 時 平成22年2月6日(土) 13:30～16:00

場 所 アスト津 3階 みえ県民交流センター

定 員 100名(先着順)

参加費 1000円

参加申込み・問合せは下記まで

### 講師プロフィール

臨床心理士、原宿カウンセリングセンター所長。

お茶の水女子大学大学院修了後、30年以上にわたりカウンセラーとして家族問題と向き合い、DVや虐待とかかわってきた。主な著書に「母が重くてたまらない・墓守娘の嘆き」「共依存・からめとる愛」「加害者は変えられるか？－DVと虐待をみつめて」「選ばれる男たち－女たちの夢のゆくえ」等多数。



主 催：NPO法人女性と子どものヘルプライン・MIE (まゆmayu)

問合せ・申し込み

電 話：090-8223-3351

F A X：0585-21-8991



女性と子どものヘルプライン・MIE (mayu)